

「エコシティたかつ」推進事業 プロジェクト展開スケジュール

「12のプロジェクト」2010

リーディングプロジェクト

●**地図による地域環境資源の共有化の促進** これまで収集整理した地域の流域区分、標高データ等の基礎的データや、首都大学東京都市環境学部との協働により実施している市民参加型ヒートアイランド調査の結果などを活かし、今後の中期や長期のプロジェクトでも活用するため、水系や流域等のランドスケープを重視し、その地形特性や地域資源、温熱環境等を入れたベースマップを市民協働で作成する。
(岸委員長/伊中委員/若杉委員/田中委員)

●**区役所の緑化等、環境技術導入によるエコシティホール化の推進** 庁舎を環境展示場「エコシティホール」とし、来庁者への環境教育の場とする。高津区役所庁舎屋上に10kWhの太陽光パネルを新設する予定である。
(川辺委員)

●**緑のカーテン事業の展開** 「緑のカーテン」のさらなる普及啓発、拡大のため、ゴーヤーの育て方に関する講習会、コンテスト、成果報告会を兼ねたシンポジウム等を実施する。
(川辺委員)

●**エコ・エナライフコンクールなど普及啓発イベントの実施** 高津区区民会議や「エコシティたかつ」推進会議の構成団体等との協働で、「エコ・エナライフコンクール」など、区民向けの啓発イベントと事業実施成果の報告会等を実施する。
(長村委員)

●**学校流域プロジェクト** 学校を、健全な水循環と生き物の賑わいを再生し支える地域のモデル基地と位置づけ、環境学習を実施する。2010年度は、整備済4小学校へのソフトな支援を行うとともに、2校程度の整備を行う予定である。
(小林委員/岸委員長)
(協働での事業実施支援団体：NPO法人鶴見川流域ネットワーク)

●**橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進** 橘地区にある緑地等の環境資源、営農活動等の地域資源を活かし、地域間交流の活性化等に取り組む。3年間の国補助事業、高津区「たちばなブランド」創出推進事業を軸に、地産地消と食育に取り組む。(協働での事業実施団体：NPO法人ぐらす・かわさき)
(井坂委員/住田委員/横山登委員)

その他のプロジェクト

●**「緑と水でつなぐ 歴史街道 花街道」(緑化推進重点地区計画)の推進** 溝口駅周辺市街地の都市緑化や良好な緑の景観づくりを進める。2010年度は、キラリデッキ付近の街路樹等を整備する。
(若杉委員/川辺委員/三島委員)

●**雨水利用の促進** 「まちの小さなダム」としての雨水利用促進のため、モニターを3件公募した。2010年度も継続する。公共施設での試験設置・啓発イベントを実施し、助成制度の創設等、普及啓発に向けた制度設計に関する検討を行う。
(横山副委員長/小林委員)

●**再生可能エネルギーの利用促進** 都市における自立的なエネルギー確保の観点から、太陽エネルギー等、再生可能エネルギーの利用促進に向けて、高津区役所庁舎屋上に10kWhの太陽光パネルを設置し、設置後には区民への普及啓発活動等にも取り組みを始める。
(鈴木委員/若杉委員)

●**「まちなか油田プロジェクト」の推進に向けた調査・研究** 使用済みてんぷら油の回収方法等の調査・研究を進め、資源循環を進める。(協働での事業実施団体：かわさきかえるプロジェクト) (伊中委員)

●**エコ企業調査プロジェクト** 環境に配慮した取組を行っている区内企業・事業所、商店街を訪問・紹介し、企業と市民等のネットワークづくりに向けた取組を市民協働で進める。
(横山副委員長/秋元委員/伊中委員/吉田委員)

●**「エコシティたかつ」推進のための体制づくり** 様々な主体が参加し、主体間連携やプロジェクト間調整や効果的な情報発信等(推進フォーラムを含む)を行う推進体制を整備する。
(小島委員/水谷委員)

中期的なプロジェクトの案 2011~2013

●**仮称「たかつ地域水循環計画」の検討**
地域における健全な水循環の再生を目指し、河川における水質と水量の一体的管理、生活排水対策の推進、地下水保全、湧水保全等に、地域から計画の策定に向け、市民協働で検討します。

●**複合型氾濫マップ(ハザードマップ)の協働作成**
単一流域を想定した堤防破堤や越流を想定した洪水氾濫マップや、内水の浸水実績図などをもとにした複合型氾濫マップの作成を検討します。

●**仮称「たかつ自然の賑わいづくり計画」の検討**
国の生物多様性国家戦略等の趣旨を踏まえ、区レベルにおける先行的な取組として、仮称「たかつ自然の賑わいづくり計画」の策定に向け、市民協働で検討します。

●**多摩川崖線の緑の保全・回復・育成を目指した市民協働の取組**
高津区の景観を特徴づける多摩川崖線は、次世代に継承すべき大切な環境資源です。地域資源ベースマップ等を参考に、保全緑地をとりまく環境や植生状況等を確認し、様々な主体が連携・参画できる保全管理の仕組みづくりや、緑地保全制度の拡大を図るためのPR手法について、市民協働で検討します。

●**水の道調査に基づく復元水系図の作成**
水文化の再評価と環境再生の視点から、二ヶ領用水をはじめとする区内の用水路、小河川の復元水系図作成に、市民協働で取り組みます。



●**行政区レベルでの環境マネジメントの実践的な取組**
「環境管理システム(エコオフィス計画)」等と連携しつつ、区における全事務事業の環境視点からの見直しと評価システムの構築等に取り組めます。

●**小さな循環・生ごみリサイクルシステムの構築**
「生ごみリサイクルプラン」に基づき、ごみの減量化、家庭から出される生ごみの堆肥化などに、地域からの取組を検討します。

●**円筒分水、かすみ堤を活かした「緑の回廊」づくりの推進**
円筒分水や貴重な地域遺産であるかすみ堤の活用等を進めるとともに、津田山駅周辺の緑地から多摩川へ通じる緑の回廊(コリドー)づくりに取り組みます。

長期的なプロジェクトの案 2014~2018

●**自然環境・地域環境に配慮した新たなエコ・コミュニティの検討**
流域思考による持続可能な地域づくりの視点から、環境・社会・経済のバランスの取れたコミュニティベースの新たな自治のあり方について検討します。

●**生命地域の視点によるまちづくりの検討**
環境政策と都市政策を連動させたまちづくりを、地域で統合的に推進していくための大地や水循環の体系に則したシステム構築に向けて、検討します。

●**小流域単位の総合治水の推進**
複合型氾濫マップ、仮称「たかつ地域水循環計画」、仮称「たかつ自然の賑わいづくり計画」等に基づき、小流域単位での重層的治水対策の推進に向けて検討します。



これからの検討課題

●自然共生型都市再生の推進に向けた区としての総合行政の展開

●都市の農的空間を活かしたまちづくりの推進

●環境負荷の小さい地域交通政策の検討

●環境活動・環境資源の保全に関する新たな資金支援制度の創出

●中長期的な視点からのまちのあり方に関する検討

●環境的視点からの区役所事業の横断的展開

※ 担当委員は、2009年度の方を入れております。